

各位

会社名 オムロン株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 辻永 順太
コード番号 6645
上場取引所 東証プライム市場
問合せ先 グローバル戦略本部長 竹田 誠治
TEL 075-344-7048

デバイス&モジュールソリューションズビジネス（電子部品事業）の分社化の 検討開始に関するお知らせ

オムロン株式会社（以下「当社」といいます）は、2025年9月19日開催の取締役会において、2026年4月1日を目途とするデバイス&モジュールソリューションズビジネス（電子部品事業）（以下「DMB」といいます）の分社化に関する検討を開始することを決議いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 検討開始の背景および目的について

当社は、事業の自律性を高めることで、市場環境の変化に迅速に対応し、意思決定のスピードを向上させることを目的に、ヘルスケア事業（2003年）、車載電装部品事業（2010年）、社会システム事業（2011年）の分社化を進めてまいりました。これらの取り組みにより、各事業における競争力の強化とグループ全体の企業価値向上を実現してきました。

今回、分社化の検討対象とするDMBは、創業以来リレー、スイッチ、コネクタ等の電子部品を主力製品とし、高品質を強みとしてお客さまからの信頼を獲得し、長年にわたり当社の成長を支えてきました。近年では、EV向け高容量リレー需要の拡大など市場の成長が見込まれる一方、事業スピードやコスト競争力を有する新興企業の参入により、競争環境は一段と厳しさを増しています。

このような事業環境のもとで、持続的かつ収益性の高い成長を確立するためには、DMBの強みである品質を維持しながら、DMBに最適な業務プロセスおよび意志決定プロセスを構築し、事業スピードとコスト競争力を一層強化していくことが不可欠です。さらに、新製品の開発・生産やグローバル営業体制の強化に向けては、これまで以上の投資拡大が必要であり、その実現にあたっては、他社との協創や外部資源の活用などの多様なパートナーシップの可能性も視野に入れて検討していくことが求められます。

当社は、これらの取り組みを着実に実行し、事業の収益・成長基盤を確立するためには、自律した経営体制の確立が最も有効であると判断し、DMBの分社化検討を開始することを決定しました。

2. 今後の見通し

2026年4月1日を目途に当社のDMBを分社化（以下「本分社化」といいます）することを目指します。対象となる各国の法令等に従い、本分社化の実行に向けた課題や選択肢の検討を進めてまいります。具体的な方法および内容は決まり次第、あらためてお知らせいたします。

（参考）DMBの業績推移

（単位：百万円）

	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	2026年3月期 見通し
売上高	120,972	138,854	114,357	105,441	110,000
営業利益	10,086	15,501	3,148	306	4,000
営業利益率	8.3%	11.2%	2.8%	0.3%	3.6%

以上